

維内中学校の生徒の皆さんへ

ロジック本紙

高井早希

皆さん 受けまして おおびとうございませう。

新年早々 能登半島地震が 日本中に大きな衝撃を与え、今なお多くの犠牲者の命が、水と電気もない状態で生活にまよっています。日本中の人の街 維内でも連日の様に続く悪天候の中、降り積もる雪と寒い空から一生懸命 生活に励む人々の姿が、涙を誘っています。

日本中に一日も早い春が訪れますようにと、北から願う毎日です。

先日 私は 維内中学校の生徒さんお二人にとお目撃されました。

学校向かいのビル前で 買物をしようと駐車場に入ると、入り口を間違えて雪山の突っ込み 前にも後にも動けなくなりました。スコープで雪をはねていたところに 維内中学校の生徒さんが かけ寄ってきて「お年頃か!!」と声をかけ下を指した。「前を押しはなすか!!」二人で後を押しはなす。と地を動かされた!!

吹雪の中 嫌な顔を見せながら押はなしてくれ、お二人の生徒さんに、北から感謝致しませう。

中三の 美田君、渡辺君 寒の中 本音に、おびとうございませう。

素晴らしい先輩達の姿に、維内中学校の宝物～素直に優しい心～を感じました。維内中学校はやはり 維内の大切な魂を帯びる 維内のルーツです。おびとう感じ、合員インターンにかかわらせて頂いた日に、北から感謝致しませう。

冷たい手に買物袋を下げて学校へ戻って行くお二人の姿に、北から感動致しませう。

美田君、渡辺君 このご恩は忘れません。困っている人を見遇いする声かけしてくれ、若者に未来への希望を感じました。維内中学校の皆さんの未来の希望に満ちた世界があることを信じておられます。おびとうございませう!!